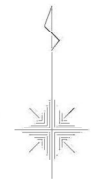


地質調査位置図

S=1/1000



点名	X座標	Y座標	標高
B-1	66783.967	41070.310	10.02
B-2	66792.125	41146.214	18.32
B-3	66802.996	41174.225	23.45
B-4	66843.350	41097.510	20.45
B-5	66842.410	41090.917	20.53

名護湾

業務名			
図面名	地質調査位置図		
作成年月日			
縮尺	1/	図面番号	
会社名			
事業所名	名護市 護国永道部 護国測量課		

ボーリング柱状図

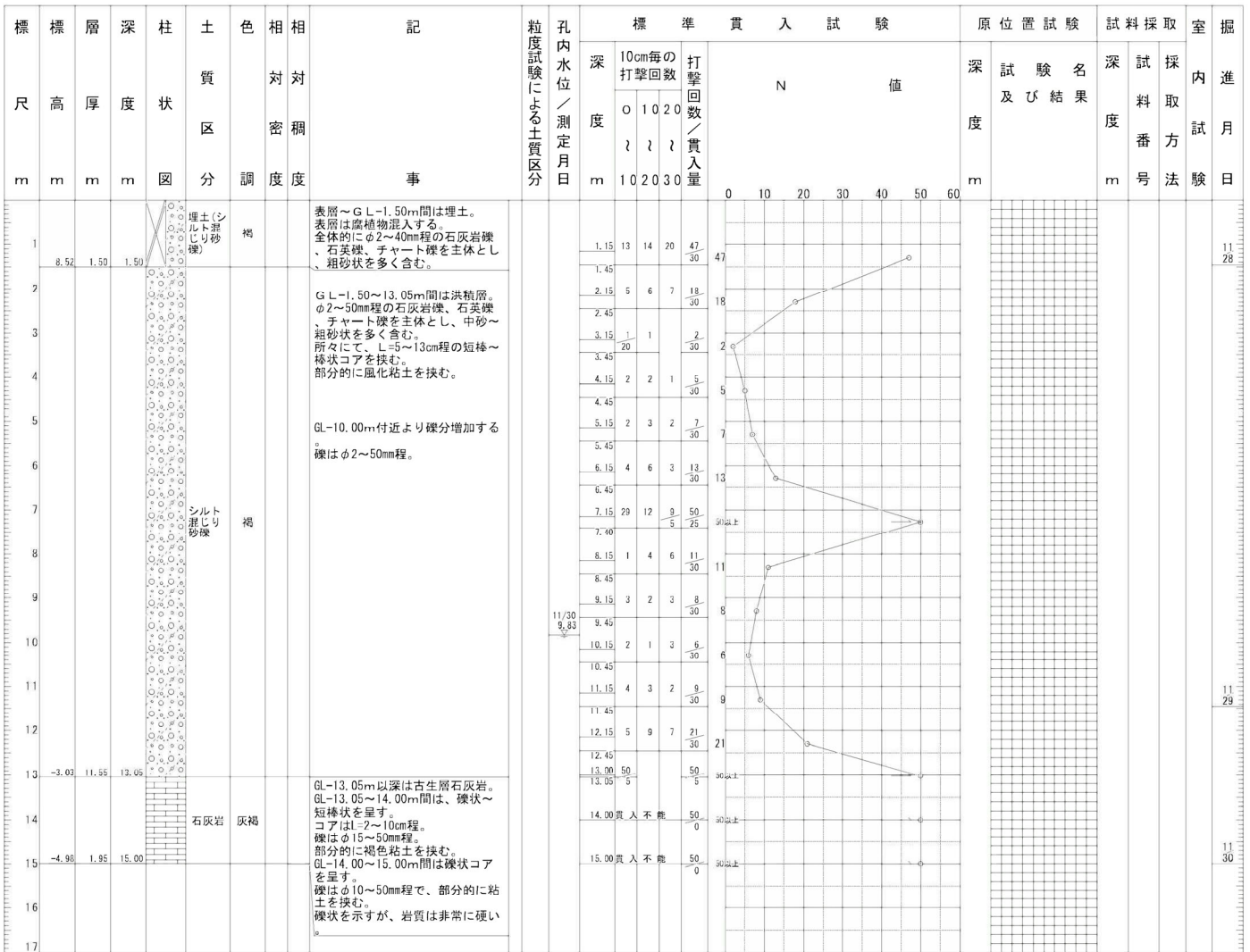
調査名 新設廃棄物処理施設地質調査業務委託

ボーリングNo. 001

事業・工事名

シートNo. 1

ボーリング名	B-1	調査位置	名護市安和地内	北緯	26° 36' 08.0867"
発注機関	名護市 環境水道部 環境対策課	調査期間	平成29年11月28日～平成29年11月30日	東経	127° 54' 44.5842"
調査業者名					
孔口標高	E.L. 10.02m	角		使用試験機	YBM-05
総掘進長	15.00m	度		エンジン	YANMAR-NFAD8
			ハンマ落下用具	半自動型	
			ポンプ	YANMAR-NFAD6	



備考

注1) 試料採取方法の記号

注2) 原位置試験方法の記号

- T : シンウォールサンブラー
- F : フォイルサンブラー
- P : 標準貫入試験用サンブラー
- O : オーガー
- D : デニソン型サンブラー

ボーリング柱状図

調査名 新設廃棄物処理施設地質調査業務委託

ボーリングNo. 002

事業・工事名

シートNo. 2

ボーリング名	B-2	調査位置	名護市宇安和地内	北緯	26° 36' 08.3438"
発注機関	名護市 環境水道部 環境対策課	調査期間	平成29年11月25日～平成29年11月28日	東経	127° 54' 47.3288"
調査業者名					
孔口標高	E L 18.32m	角	180° 上 90° 下 0°	方	0°北 270°西 90°東 180°南
総掘進長	13.00m	地盤勾配	0° 鉛直 90° 水平	使用試験機	YBM-05D
		エンジン	YANMAR-NFAD8	ハンマ落下用具	半自動型
				ポンプ	YANMAR-NFAD6

標尺	層厚	深度	柱状図	土質区分	色相対調度	相対密稠度	相対調度	記	粒度試験による土質区分	標準貫入試験				N値	原位置試験	試験名及び結果	深	度	試料採取番号	採取方法	室内進	掘進月日
										深	度	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量									
1									無し	1.15	4	6	5	15	30							
2										1.45	5	6	7	18	30							
3										2.15	5	6	7	18	30							
4										2.45	3	3	3	9	30							
5										3.15	3	3	3	9	30							
6										3.45	11	5	4	20	30							
7										4.15	4	4	3	11	30							
8										4.45	2	2	2	6	30							
9										5.15	4	4	3	11	30							
10	9.67	8.65	8.65							5.45	2	2	2	6	30							
11										6.15	3	5	4	12	30							
12										6.45	13	15	14	42	30							
13	5.32	4.35	13.00							7.15	3	5	4	12	30							
14										7.45	13	15	14	42	30							
15										8.15	13	15	14	42	30							
										8.45	貫入不能	50	0	50以上								
										9.00	貫入不能	50	0	50以上								
										10.00	貫入不能	50	0	50以上								
										11.00	貫入不能	50	0	50以上								
										12.00	貫入不能	50	0	50以上								
										13.00	貫入不能	50	0	50以上								

備考

注1) 試料採取方法の記号

T : シンウォールサンプラー F : フォイルサンプラー
P : 標準貫入試験用サンプラー O : オーガー
D : デニソン型サンプラー

注2) 原位置試験方法の記号

ボーリング柱状図

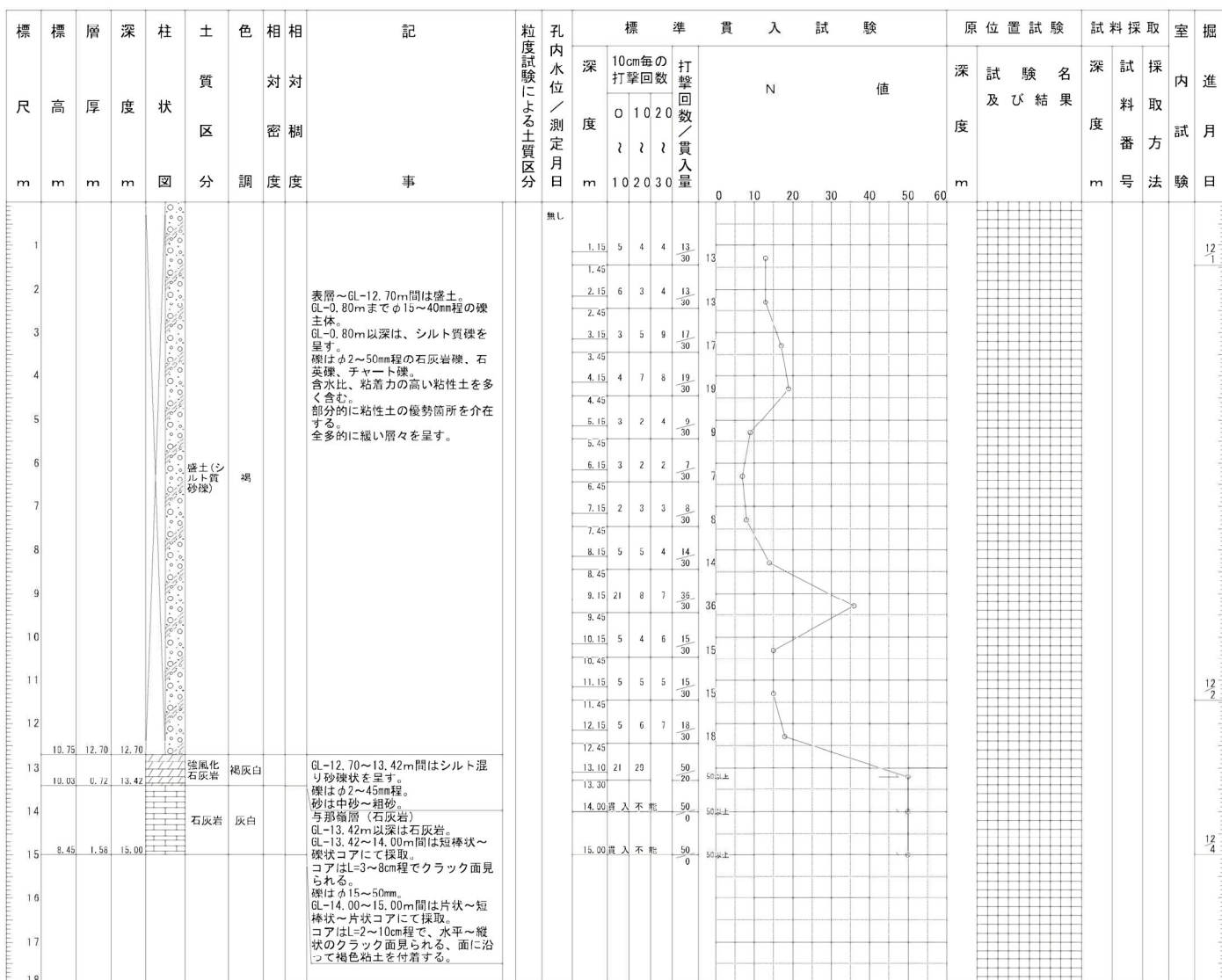
調査名 新設廃棄物処理施設地質調査業務委託

ボーリングNo. 003

事業・工事名

シートNo. 3

ボーリング名	B-3	調査位置	名護市字安和地内	北緯	26° 36' 08.6941"
発注機関	名護市 環境水道部 環境対策課	調査期間	平成29年12月 1日～平成29年12月 4日	東経	127° 54' 48.3426"
調査業者:					
孔口標高	EL 23.45m	角	180° 上 90° 下 0°	方	0°北 270°西 0°東 180°南
総掘進長	15.00m	度	0°	鉛直	0° 水平 90°
使用機種	試錐機 YBM-05D	ハンマー	半自動型	ポンプ	YANMAR-NFAD6
	エンジン YANMAR-NFAD8				



備考

注1) 試料採取方法の記号

T : シンウォールサンブラー F : フォイルサンブラー
 P : 標準貫入試験用サンブラー O : オーガー
 D : デニソン型サンブラー

注2) 原位置試験方法の記号

ボーリング柱状図

調査名 新設廃棄物処理施設地質調査業務委託

ボーリングNo. 004

事業・工事名

シートNo. 4

ボーリング名	B-4	調査位置	名護市字安和地内	北緯	26° 36' 10.0135"
発注機関	名護市 環境水道部 環境対策課	調査期間	平成29年11月22日～平成29年11月24日	東経	127° 54' 45.5743"
調査業者名					
孔口標高	E L 20.49m	角	180° 上 下 0°	方	0°北 270°西 90°東 180°南
総掘進長	14.00m	度	0°	地盤勾配	0° 鉛直 90° 水平
使用機種	試錐機 YBM-05D	ハンマー	落下用具	ポンプ	半自動型
エンジン	YANMAR-NFAD8	YANMAR-NFAD6			

標尺	層厚	深	柱状	土質	色	相対	相対	記	粒度試験による土質区分	孔内水位/測定月日	標準貫入試験			N値	原位置試験		試料採取	室内			
											深	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量		深	試験名及び結果			深	採取方法	進
m	m	m	m	図	調	度	度	事			m	回	回	回	m	号	方	法	日		
1										無し											
2								盛土 シルト混り砂礫状の盛土。 石灰岩礫、石英礫、中砂～粗砂状を主体に構成される。 部分的に石灰岩を棒状コアにて採取。 コアはL=10～15cm程。 所々に隙分優勢や粘土分優勢箇所を挟む。													11/22
3																					
4																					
5																					
6																					
7																					
8																					
9																					
10								GL-13.60m以深に鉄屑の介在あり。 掘進不可の状態にあり、作業を終了した。 大きさ、長さは不明瞭。													11/23
11																					
12																					
13																					
14	6.48	14.00	14.00																		11/24
15																					

備考

注1) 試料採取方法の記号

T : シンウォールサンブラー F : フォイルサンブラー
P : 標準貫入試験用サンブラー O : オーガー
D : デニソン型サンブラー

注2) 原位置試験方法の記号

ボーリング柱状図

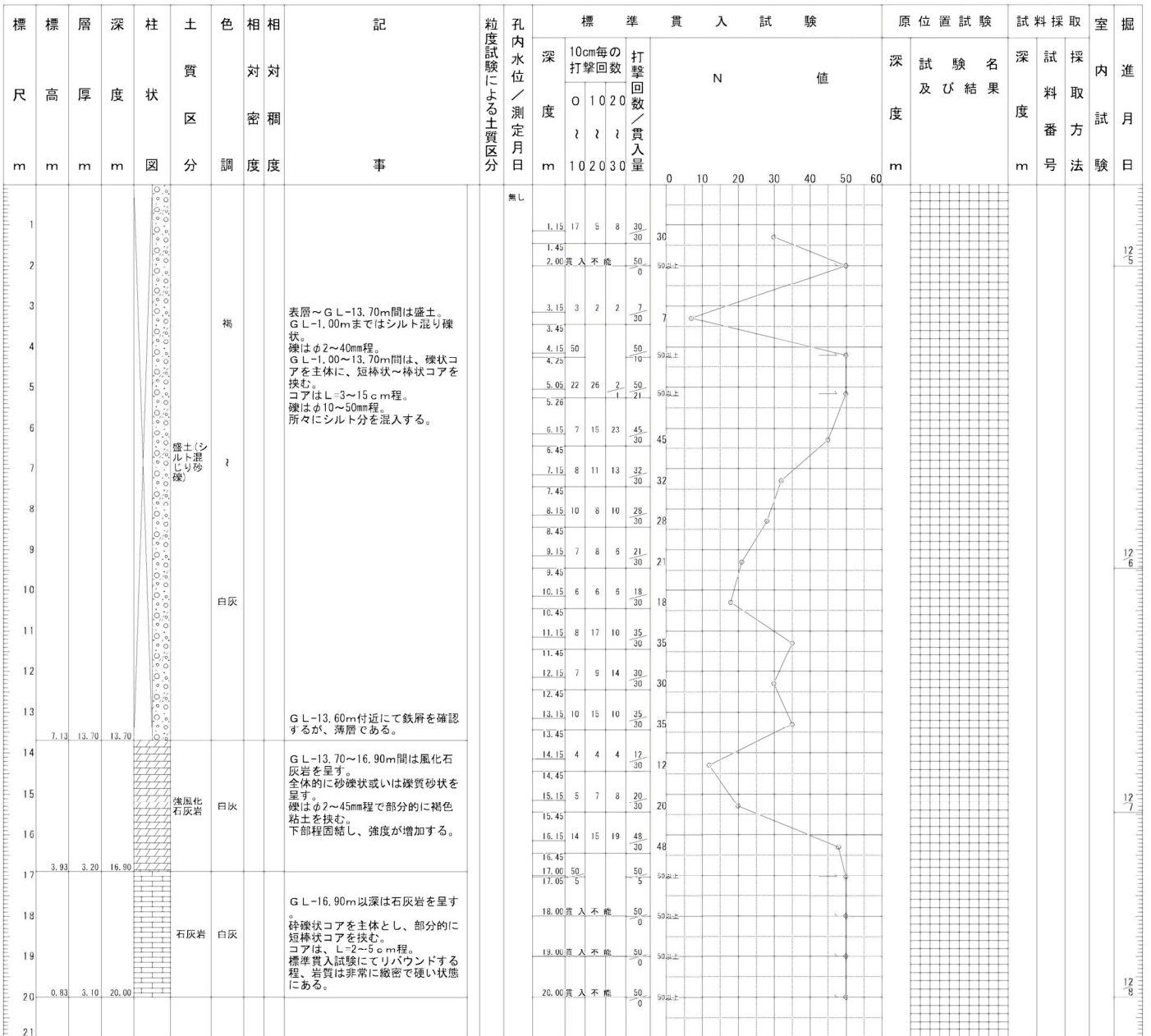
調査名 新設廃棄物処理施設地質調査業務委託

ボーリングNo. 005

事業・工事名

シートNo. 5

ボーリング名	B-5		調査位置	名護市字安和地内		北緯	26° 36' 09.9836"	
発注機関	名護市 環境水道部 環境対策課			調査期間	平成29年12月 5日～平成29年12月 8日			
調査業者名								
孔口標高	EL	20.83m	角	180° 上 90° 下 0°	方	0°北 270°西 0°東 180°南	地盤勾配	0° 鉛直 90° 水平
総掘進長	20.00m		度		向		使用試錐機	YBM-05D
							エンジン	YANMAR-NFAD8
							ハンマ落下用具	半自動型
							ポンプ	YANMAR-NFAD6



備考

注1) 試料採取方法の記号

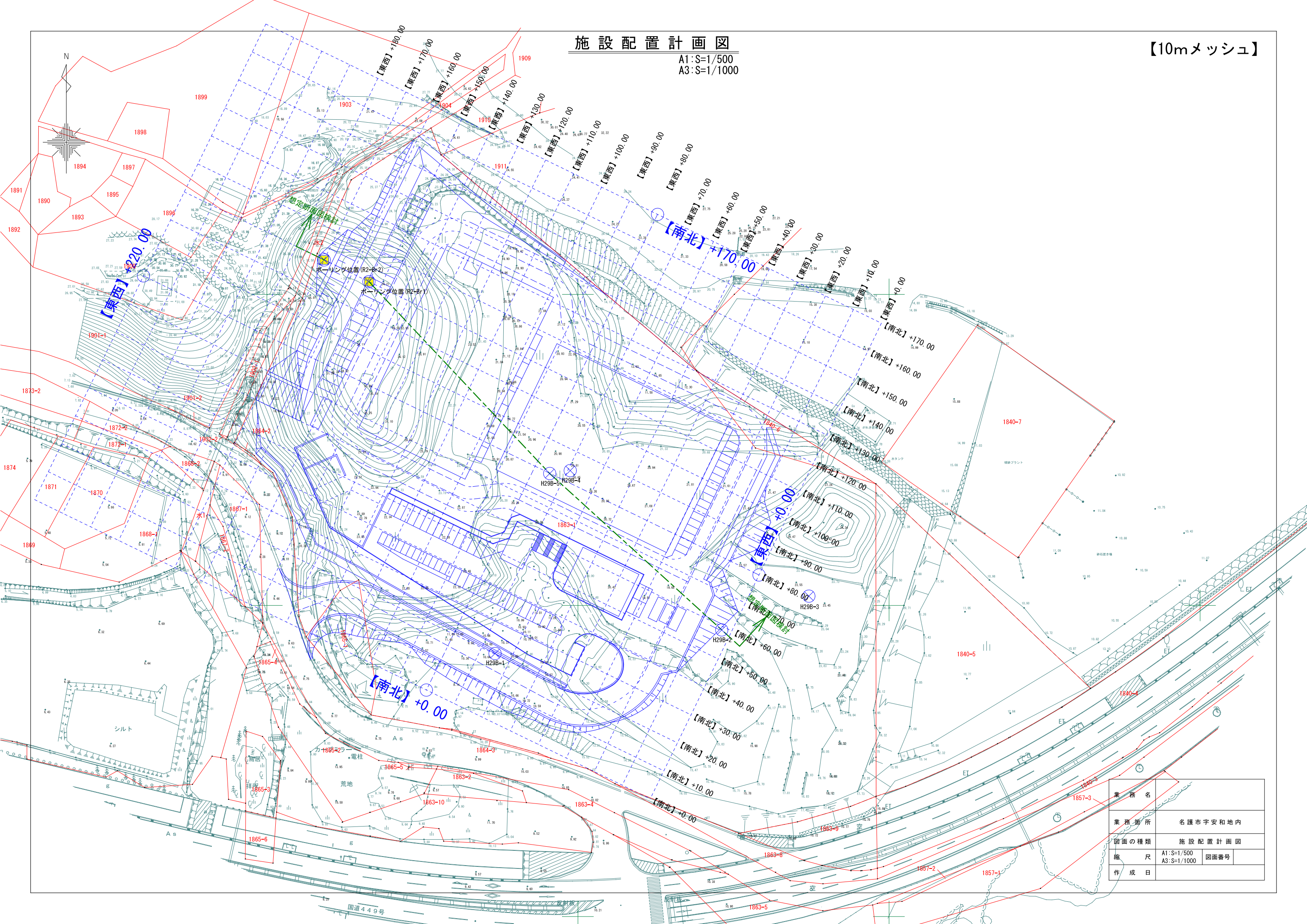
注2) 原位置試験方法の記号

- T : シンウォールサンプラー
- F : フォイルサンプラー
- P : 標準貫入試験用サンプラー
- O : オーガー
- D : デニソン型サンプラー

施設配置計画図

A1:S=1/500
A3:S=1/1000

【10mメッシュ】



業務名			
業務箇所	名護市宇安和地内		
図面の種類	施設配置計画図		
縮尺	A1:S=1/500	図面番号	
作成日	A3:S=1/1000		

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 名護市新設廃棄物処理施設造成実施設計業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	Br1	調査位置	名護市字安和地内			北緯	° ' "	
発注機関	名護市環境水道部環境対策課		調査期間	令和2年12月21日～ 令和2年12月23日		東経	° ' "	
調査業者名								
孔口標高	EL 0.00m	角	180° 上 90° 下 0°	方 0°北 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	0° 鉛直 90° 水平	使用機種	試錐機 YBM-05D
総削孔長	9.00m	度		向			エンジン	YANMAR-NFAD8
							ポンプ	KAAS SX401

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相對密度	相對稠度	記	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取		室内試験	削孔月日						
											深度 - N 値図					深度 (m)	試料番号			採取方法					
1			埋土 (シルト質砂礫)	埋土 (シルト質砂礫)	淡褐灰	褐			<ul style="list-style-type: none"> 表層～GL-6.0m間は盛土。全体的にシルト質砂礫状を呈する。表層～GL-0.1m間は腐植土。植物根を多く含む。 GL-0.1～0.4m間、L=4cm程の石灰岩を短棒状～巨礫状に介在する。 GL-0.4～6.0m間、シルト質砂礫状を主体とし、部分的に礫質シルト状を挟む。 シルトは、低位～中位含水比。 礫は、φ2～35mm程の古生層石灰岩礫。部分的に石灰岩を岩塊状に挟む。 	無し	10	1.15	1	4	5	10									
2		15									1.45														
3		8									2.15	5	6	4	15										
4		11									2.45														
5		19									3.15	3	2	3	8										
6	-6.00	6.00									3.45														
7			4.15	4	3	4	11																		
8			4.45																						
9	-9.00	9.00	5.15	3	6	10	19																		
10			5.45																						
11			6.00	貫入不能			50	0																	
			7.05	貫入不能			50	0																	
			8.00	貫入不能			50	0																	
			9.00	貫入不能			50	0																	

備考

注1) 試料採取方法の記号

注2) 原位置試験方法の記号

- T : シンウォールサンプラー
- F : フォイルサンプラー
- P : 標準貫入試験用サンプラー
- O : オーガー
- D : デニソン型サンプラー

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 名護市新設廃棄物処理施設造成実施設計業務委託

事 業 ・ 工 事 名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	Br2	調査位置	名護市字安和地内			北 緯	° ' "		
発注機関	名護市環境水道部環境対策課	調査期間	令和3年 1月 7日～ 令和3年 1月13日			東 経	° ' "		
調査業者名									
孔口標高	E L 0.00m	角 度	180° 上 下 0°	方 向		地盤勾配	0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機 YBM-05D
総削孔長	19.00m							エンジン	YANMAR-NFAD8
								ポンプ	KAAZ SX401

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取		室内試験	削孔月日
											深度 - N 値 図					深 度 (m)	試 料 番 号		
												N 値	100mm毎の打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量			
												深 度 (m)	0	100	200	300			
1									<ul style="list-style-type: none"> ・ 表層～GL-16.16m間は盛土。層全体的にシルト質砂礫を呈する。表層～GL-0.2間、腐植土。 GL-0.2～1.0m間、シルト優勢にて礫質シルトを呈する。 GL-1.5～1.9m間、石灰岩を片状に挟む。 GL-5.0～6.0m間、礫を多く含む。 GL-5.8～6.0m間、短棒状コアを挟む。 GL-6.0～10.0m間、シルト分多くなる。 GL-9.65～9.9m間、片状および巨礫を挟む。 GL-10.0～11.55m間、礫状多くなる。 GL-11.55～11.90m間、シルト優勢を呈する。 GL-12.1～12.20m間、岩塊状。 GL-12.2～12.25m間、巨礫介在。 GL-12.25～12.8m間、L=20cm程の棒状コアを介在する。 GL-12.8～14.0m間、砂礫状コア。 GL-14～15.85m間、礫質シルト状。 GL-15.85～16.16m間、シルト質砂礫状。 	無し		1.15	23	27	50	190			
2				茶褐							50以上	1.34	90	190					
3											10	2.15	2	4	4	10	300		
4											20	2.45							
5											17	3.15	3	10	7	20	300		
6											45	3.45							
7											7	4.15	7	6	4	17	300		
8											11	4.45							
9											9	5.15	19	8	18	45	300		
10											9	5.45							
11											8	6.15	2	2	3	7	300		
12											50以上	6.45							
13											50以上	7.15	3	4	4	11	300		
14											9	7.45							
15											9	8.15	2	2	5	9	300		
16	-16.16	16.16									8	8.45							
17									50以上	9.15	3	3	3	9	300				
18									50以上	9.45									
19	-19.00	19.00							50以上	10.15	2	3	3	8	300				
20									50以上	10.45									
									50以上	11.15	20	18	10	48	300				
									50以上	11.45									
									50以上	12.10	50			50	60				
									50以上	12.14	40			40					
									7	13.15	2	2	3	7	300				
									8	13.45									
									12	14.15	3	2	3	8	300				
									50以上	14.45									
									50以上	15.15	3	4	5	12	300				
									50以上	15.45									
									50以上	16.10	50			50	60				
									50以上	16.16	60			60					
									50以上	17.00	貫入不能			50	0				
									50以上	18.00	50			50	90				
									22	18.09	90			90					
										19.15	9	6	7	22	300				
										19.45									

備 考

注 1) 試料採取方法の記号

T : シンウォールサンプラー F : フォイルサンプラー
 P : 標準貫入試験用サンプラー O : オーガー
 D : デニソン型サンプラー

注 2) 原位置試験方法の記号

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 名護市新設廃棄物処理施設造成実施設計業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	Br3	調査位置	名護市字安和地内			北緯	° ' "				
発注機関	名護市環境水道部環境対策課		調査期間	令和2年12月24日～ 令和2年12月29日		東経	° ' "				
調査業者名											
孔口標高	EL 0.00m	角	180° 上 下 0°	方 向	0°北 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機 YBM-05D エンジン YANMAR-NFAD8	ポンプ	KAAZ SX401
総削孔長	17.00m	度	0°	向							

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相對密度	相對稠度	記 事	孔内水位 /測定月日	標準貫入試験					試料採取		室内試験	削孔 月日					
											深度	100mm毎の 打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度	試料採取方法							
									・表層～GL-5.8m間は盛土。 全体的にシルト質砂礫を呈する。 礫はφ2～35mm程の古生層本部石灰岩礫。 部分的に岩塊、粘土およびシルトを挟む。 表層～GL-0.1m間、腐植土。 GL-0.1～4.0m間、破碎礫状主体。礫はφ20mm以下。 GL-4.0mより礫径大きくなる。	無し	0	10	20	30	40	50	60							
1			盛土(シルト質砂礫)			褐																		
2																								
3																								
4						淡褐灰																		
5																								
6																								
7						赤褐			・GL-5.8～14.37m間は洪積層。 上部は本部石灰岩の巨礫を多く含む。 層全体的に粘土を多く含む。 GL-8.5m付近より粘板岩礫を含む。 GL-9.8～10.0m間、短棒状～棒状コアを挟む。最コア長L=12cm。 GL-10.0～14.0m間、粘土分優勢。 局所に短棒状～円礫状コアを挟む。 GL-13.45～13.6m間、片状コアを挟む。															
8																								
9																								
10						淡黄褐																		
11																								
12																								
13						褐																		
14																								
15						淡灰			GL-14.37m以深は与那嶺層(古生層石灰岩)。 GL-14.37～15.0m間、片状～棒状コアを挟む。最コア長L=30cm。 GL-15～16m間、コア採取率95%。 GL-15.0～15.05m間は礫状。 GL-15.05～16m間、棒状コア。 GL-16～17m間、コア採取率100%。 棒状コアにて採取。 非常に緻密でハンマ打撃にて金属音。															
16																								
17																								
18																								

備考

注1) 試料採取方法の記号

T: シンウォールサンプラー F: フォイルサンプラー
P: 標準貫入試験用サンプラー O: オーガー
D: デニソン型サンプラー

注2) 原位置試験方法の記号